守谷市体育協会の目的
1　市民の健康増進と体位の向上をはかる
2　各種運動競技の普及発展によりスポーツマンシップを涵養する
3　全市民に対し体育及びレクリエーションを奨励し市民の精神的結合と生活の明朗化をはかる

# 守谷市 体育協会

No.21　平成17年4月10日発行

発　行　守谷市体育協会
編　集　守谷市体育協会事務局
（守谷市教育委員会生涯学習課内）
守谷市大柏950番地1
TEL　0297-45-1111 内線273

## 第21回 守谷ハーフマラソン

### 全国からランナーが集結!!

2月6日、守谷市体育協会主催の第21回守谷ハーフマラソン大会が守谷市役所をスタート・ゴールとするコースで行われ、約3千1百名のランナーが出場しました。

今年も、守谷市内を始め、北は北海道、南は広島県と全国各地から参加申込をいただきました。

また、大会には、松田千枝選手（資生堂）と箱根駅伝に出場した中央学院大学の選手を招待し、レベルの高いスピードレースが展開されました。

なお、今大会の各部門の入賞者は次ページのとおりです。

### 大会会長　中田　孝太郎

守谷ハーフマラソン大会も、今回で第21回目を迎え県内はもとより全国各地から3千名以上のランナーを迎えて開催することができ、市の一大イベントとして定着していることは、主催者である体育協会としても大変意義深いことであります。

この大会は、市民の体力向上と地域交流の場、及び守谷市を全国にPRする目的で開催しております。当協会としましても、毎回多くの方にご参加いただくため努力してまいりました。

今後もさらに、本大会がマラソン愛好者に浸透するよう推進すると共に、益々充実発展するようご指導・ご協力のほどお願いいたします。

最後に、本大会の開催にあたりまして、ご尽力をいただきました関係各位並びに、ご協賛いただきました各企業等の皆様方に深く感謝申し上げますと共に、当日の交通規制に関しましてご協力いただきました皆様にも重ねて御礼申し上げます。

### 実行委員長　安達　孝志

早朝から強い風が吹き荒れ、コースの安全確保を気にかけながら、第21回守谷ハーフマラソンがスタートとなりました。

今回もメイン種目であります、ハーフマラソンの部では、正月の箱根駅伝でシード権を確保しました中央学院大学、そして地元筑波大学、流通経済大学の選手を中心にレースが展開され、序盤から先頭集団を引っ張った、杉本芳規選手（中央学院大学）が10km付近から抜け出し、1時間05分08秒で優勝しました。

今回の大会では、残念なことに強風の関係で高記録は誕生しませんでしたが、それぞれの思いで守谷市内を走ることができたのではないでしょうか。

また昨年とは違い、家族連れで応援にこられた方々も楽しめるよう、市役所中庭には模擬店のコーナーなど多数取り揃えてみました。不慣れな点もありご迷惑をおかけした部分もあるかとは思いますがご了承願います。

来年の大会には、つくばエクスプレスも開業し、ますます首都圏から参加しやすい大会になると感じています。今後も体育協会スタッフを中心に頑張って

いきたいと思いますので、皆様のご協力のほど宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、本大会にご協力いただきました関係各位並びにスポンサーの皆さまに、心から感謝申し上げます。

# 各部門入賞者一覧

## 参加者状況

| | 申込者数 | 当日受者数 | 完走者 | 完走率 |
|---|---|---|---|---|
| 全体 | 3,560名 | 3,074名 | 2,828名 | 92.00% |
| ハーフ | 2,296名 | 1,903名 | 1,753名 | 92.12% |
| 5km | 423名 | 372名 | 335名 | 90.05% |
| 3km | 323名 | 293名 | 270名 | 92.15% |
| 2km | 518名 | 506名 | 470名 | 92.89% |

## NAHAマラソン招待者（予定）

| 氏名 | 所属 | 招待枠 |
|---|---|---|
| 杉本　芳規 | 中央学院大学 | ハーフ総合男子1位 |
| 小池　瞳 | 国際総合計画 | ハーフ総合女子1位 |
| 出口　和也 | 藤代高校陸上部 | ハーフ市内男子1位 |
| 斉藤なつき | 藤代高校陸上部 | ハーフ市内女子1位 |
| 加瀬　裕巳 | 牛久走友会 | ハーフ市内50歳以上1位 |

## ハーフ男子総合

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 杉本芳規 | 中央学院大学 | 1時間05分08秒 |
| 2 | 蔭山浩司 | 中央学院大学 | 1時間05分52秒 |
| 3 | 天野達也 | 中央学院大学 | 1時間05分53秒 |
| 4 | 各和芳幸 | 中央学院大学 | 1時間05分53秒 |
| 5 | 栗田浩一 | モントブラン | 1時間05分59秒 |
| 6 | 木村聡寿 | 中央学院大学 | 1時間06分43秒 |

## ハーフ女子総合

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小池　瞳 | 国際総合計画 | 1時間20分04秒 |
| 2 | 中村沙織 | 学習院大学 | 1時間20分17秒 |
| 3 | 宇根由美子 | ニッポンランナ | 1時間21分06秒 |
| 4 | 斉藤なつき | 藤代高校陸上部 | 1時間23分34秒 |
| 5 | 永井真友美 | e A 茨城 | 1時間24分08秒 |
| 6 | 齋藤安子 | | 1時間26分05秒 |

## ハーフ男子39歳以下

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 杉本芳規 | 中央学院大学 | 1時間05分08秒 |
| 2 | 蔭山浩司 | 中央学院大学 | 1時間05分52秒 |
| 3 | 天野達也 | 中央学院大学 | 1時間05分53秒 |

## ハーフ男子40歳～49歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 遠藤昌志 | モントブラン | 1時間14分00秒 |
| 2 | 森嶋健司 | 八王子走ろう会 | 1時間15分42秒 |
| 3 | 久保木敏訓 | T C W | 1時間16分43秒 |

## ハーフ男子50歳～54歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 加瀬裕巳 | 牛久走友会 | 1時間19分48秒 |
| 2 | 尾崎弘志 | 上尾サブトラ | 1時間20分14秒 |
| 3 | 宮　哲雄 | 水戸石川走友会 | 1時間22分58秒 |

## ハーフ男子55歳～59歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保原幸夫 | 出光千葉 | 1時間21分08秒 |
| 2 | 笹原松則 | 横浜中央クラブ | 1時間23分16秒 |
| 3 | 森田和男 | 大宮西郵便局 | 1時間23分19秒 |

## ハーフ男子60歳～64歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 鳥取克行 | | 1時間22分49秒 |
| 2 | 大塩東洋一 | | 1時間26分23秒 |
| 3 | 高橋伸一 | | 1時間26分52秒 |

## ハーフ男子65歳～69歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 佐藤久雄 | 前橋東郵便局 | 1時間25分48秒 |
| 2 | 田中喜慶 | パラの会 | 1時間29分46秒 |
| 3 | 菊地忠二 | 境川RC | 1時間33分15秒 |

## ハーフ男子70歳以上

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 木崎儀旦 | 武蔵文化財 | 1時間30分49秒 |
| 2 | 市川邦夫 | 町田いだ天クラ | 1時間31分49秒 |
| 3 | 市川孝二 | ロングランス | 1時間39分43秒 |

## ハーフ女子39歳以下

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小池　瞳 | 国際総合計画 | 1時間20分04秒 |
| 2 | 中村沙織 | 学習院大学 | 1時間20分17秒 |
| 3 | 宇根由美子 | ニッポンランナ | 1時間21分06秒 |

## ハーフ女子40歳～49歳

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 永井真友美 | e A 茨城 | 1時間24分08秒 |
| 2 | 石井幸枝 | 笠松走友会 | 1時間26分29秒 |
| 3 | 嶋崎まな美 | 新宿区陸協 | 1時間28分08秒 |

## ハーフ女子50歳以上

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 岩下千恵子 | 柏ウイングAC | 1時間29分31秒 |
| 2 | 松田千枝 | 資生堂 | 1時間30分40秒 |
| 3 | 久保清江 | | 1時間32分51秒 |

## 5 km　男子39歳以下

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 中島　潤 | 曙ブレーキ羽生 | 16分23秒 |
| 2 | 大胡満慎 | D N A | 16分31秒 |
| 3 | 大塚　融 | 日立建機陸上部 | 17分00秒 |

## 5 km　男子40歳以上

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 今泉正行 | K. R. C | 17分29秒 |
| 2 | 鈴木浩一 | 電力中央研究所 | 17分32秒 |
| 3 | 鴨志田祐司 | | 17分41秒 |

## 5 km　女子39歳以下

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 鶴見　彩 | 藤代高校陸上部 | 18分45秒 |
| 2 | 鮎川　郁 | 東葛飾高校 | 19分43秒 |
| 3 | 竹内愛紀 | 藤代高校陸上部 | 19分48秒 |

## 5 km　女子40歳以上

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 高橋明子 | 岩槻・槻の森 | 22分23秒 |
| 2 | 赤萩利美 | | 23分32秒 |
| 3 | 千田君子 | | 23分37秒 |

## 5 km　中学生男子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 五十島正裕 | 鎌ヶ谷五中学校 | 17分11秒 |
| 2 | 勝見和俊 | 鎌ヶ谷五中学校 | 17分45秒 |
| 3 | 菊池太陽 | 秋葉中学校 | 18分07秒 |

## 5 km　中学生女子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小田倉香織 | 笠松走友会 | 18分24秒 |
| 2 | 原木美佳 | | 19分56秒 |
| 3 | 渋井亜希子 | 千葉松戸小金中 | 20分39秒 |

## 3 km　一般男子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 増田　敬 | | 10分30秒 |
| 2 | 臼井義哉 | 佐々木走友会 | 10分43秒 |
| 3 | 相墨幸夫 | ヒュンダイ土浦 | 12分43秒 |

## 3 km　一般女子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 鈴江菜央 | | 13分48秒 |
| 2 | 櫻井亜沙美 | 愛宕中学校 | 14分44秒 |
| 3 | 村上敦子 | 秋吉歯科医院 | 14分51秒 |

## 3 km　小学5・6年男子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 野村　翔 | 砂原小学校 | 10分59秒 |
| 2 | 登坂真道 | マサドラゴンズ | 11分08秒 |
| 3 | 若林　賢 | 御所ミニバス | 11分20秒 |

## 3 km　小学5・6年女子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 榎本　栞 | 上尾Jr. AC | 11分11秒 |
| 2 | 高橋亜由美 | | 11分49秒 |
| 3 | 石川なつみ | 御所ヶ丘小学校 | 12分03秒 |

## 2 km　小学1～4年男子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 横瀬直希 | 御所ヶ丘小学校 | 7分46秒 |
| 2 | 遠藤　衡 | | 7分48秒 |
| 3 | 中森湧介 | F C 郷州 | 7分53秒 |

## 2 km　小学1～4年女子

| 順位 | 氏名 | 所属 | 記録 |
|---|---|---|---|
| 1 | 桜井美佳 | 常磐小学校 | 8分00秒 |
| 2 | 仲野谷亜由 | 岩間第三小学校 | 8分17秒 |
| 3 | 黒須仁美 | 黒内小学校 | 8分20秒 |

# 平成十六年度 各部の活動報告

## 軟式野球

守谷市軟式野球連盟は、軟式野球を通じて市民の体力向上と健全な精神を育成し、市民相互の親睦を図るために活動しています。その目的を達成するために、春季・秋季の市民野球大会を開催しています。

春季市民大会は、通常5月第2週の日曜日に開幕し、毎日曜日が開催日となっています。春季大会の上位チームは、「取手・守谷・北相馬大会」に出場することが出来ます。

秋季大会は、教育委員会主催大会となり、通常9月第1日曜日が開幕となります。

連盟加入と大会参加は、守谷市に在住・在勤の方（但し1チーム3名までは市外に在住・在勤の方でも登録できます）で組織するチームであれば参加できますので友達・地域等でチームを作り参加してください。新規のチームには大会の案内をいたしますので、連盟事務局までご連絡をお願いいたします。

また、「まだまだ野球をやりたいが年齢的に」という方がいましたら、当連盟のシニア部会の大会もありますのでご連絡をいただけたらチームを紹介いたします。

現在当連盟では、野球の審判員を募集しています。審判員の資格を持っている方、資格はないが審判員をやってみたいという方は連盟事務局までご連絡をいただきますようお願いいたします。

連絡先　守谷市軟式野球連盟
会長　椿　文嶺
TEL 48−0253（学校給食センター）
自宅　48−1088

## バドミントン

21世紀を迎え、スポーツを取り巻く環境は、日々大きく変化をしつつあり、守谷市の場合も例外とは言えない様に思える。

急速な高年齢化社会・自由時間や余暇の増加・勤労の合理化等々、その為には意識を持って、健康や体力の維持、増進を図る事が出来る力を身に付けなければいけない様に思われる。

スポーツと健康は、大変微妙な関係にある。スポーツや運動をすると、無条件に健康に結びつくかと言うとそうでもない。逆になる事も十分考えなくてならない。

正しく言えば、健康の維持、増進の為には、スポーツは大変有効な手段の一つに過ぎないと言えるのではないでしょうか。

スポーツと健康の関係は、お酒と健康の関係によく似ています。健康に良いかどうかの、明確な回答はありえないし、個人差によってまったく違います。この適度ならと言う所がやっかいで、なかなか守れないくせ者の様に思えます。

スポーツや運動を実施するにあたり、自分にとって適度な刺激と興味を見つけて長く継続出来た時、初めてスポーツや運動が健康に良い、と言う実感と優越感を得る事が出来るのではないでしょうか。なんとなくのんびりとした時をすごしているのではなく、一生関わっていけるスポーツや運動を一つ二つ持ちたいものです。最初からレベルの高い運動や技術に走っても、長続きはしません。自分の体力の半分位で、無理をせずにじっくり続けることが大切です。健康の為のスポーツならば、自分の健康状態に合った方法で、興味のある物を好きにやって、自分の体力に合ったスポーツを選べば良いのではないでしょうか。

さあ、バドミントンを始めましょう。

最後に、守谷市で活躍をしている多数のクラブが、一つでも多く体育協会に加入をしていただき、より良い組織に発展していく事を期待します。

守谷市バドミントン連盟会長
水海　藤一

連絡先
0297−48−4150（自宅）
0297−48−8219（会社）
メール　mitsukait@meisei.co.jp

## ソフトテニス

体育協会テニス部です。私たちは守谷ソフトテニス部という名称で、普段の練習は現在、毎週木曜日・金曜日・土曜日に活動しています。

部員は、60名くらいで、年齢は高校生から上は70歳になる方まで、非常に幅広い年齢の方がそれぞれの体力にあわせてテニスを楽しんでいます。

また、大会は春が体育協会、秋が教育委員会を主催者として開催し、春は近隣市町村のクラブや学校を招待して、秋は市内の中学生を中心にと開催しています。

更に、本年よりシニアの大会も主催者として開催する予定です。

クラブ内のイベントも多く、春はお花見・クラブ内の試合、夏にはバーベキューといったクラブ員が楽しく活動出来るようなメニューを用意して、クラブ員の家族を交えた親睦会も実施しています。

このようなクラブですが、昔テニスをしていた方、経験がなくこれからはじめようかと思っている方、是非一度コートに来て見て下さい。やってみたいと思った方の参加をお待ちしています。

◎連絡先
木曜日原田：TEL 45−5631
金曜日佐野：TEL 48−7427
土曜日武谷：TEL 48−1952

## ソフトボール

守谷市ソフトボール部では、平成16年度最大イベントとして第29回茨城県お父さんソフトボール大会を平成16年9月12日から平成16年10月3日の各日曜日にクレトイシグラウンドを大会会場として、開催・主管しました。

守谷市として、初めて経験するビックな大会ということもあり、手探り状態からのスタートでした。

平成15年度シーズンオフを待つことなく、大会会場となるクレトイシグラウンドの目土入れなど整備から始まり、守谷市ソフトボール部としての体制づくり、そして各チーム代表を交えての連日に亘る調整会議の開催、部員手作りによる案内板・看板等の作成、備品・機材の調整等、文字通りの手作り大会を目指し、役員・部員が一体となって大会成功に向け、取り組みました。

本大会には、県内83市町村（開催時）からAブロック（35才以上）として16チーム、Bブロック（年齢制限なし）として43チームが参加し、地域を代表するチームに相応しい好ゲームが展開されました。

Aブロックには、守谷市から「ニュースターズ」が出場し、地元の声援をうけ健闘し、準決勝まで勝ち進みましたが、途中雨天降雨のため中止となり勝ち進んだ守谷市・水海道市・ひたちなか市・美野里町の4チームが優勝となりました。

また、Bブロックには「清水ファイナルズ」が出場しましたが、健闘虚しく岩間町に惜しくも破れ、次大会への必勝を誓ったところです。

決勝戦は、3年連続優勝を狙った関城町（関城分中ソフト）と取手市（戸頭ヤンガース）とで行われ、大接戦の末、取手市が優勝の栄冠を得ました。

約4週間にわたり熱戦が繰り広げられた本大会が大過なく成功裡に終えたことは、数多くの関係者の皆様方のご支援・ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げるところであります。

特に、開会式において参加チームプラカード持ち、国旗・県協会旗等掲揚で式を盛り上げていただいた、守谷市子供連合会ソフトボール部の皆様に厚くお礼申し上げます。

これを機に、ソフトボールをやってみたいと思っている方はお気軽にお電話を下さい。お待ちしております。

電　話：45−2270

（武田　隆造）

## 少林寺拳法

### ―人と人との調和とコミュニケーション―

少林寺拳法では、

1、一個の人間としては自分自身が自分にとって本当に頼れる人間となること。（拳禅一如）

2、社会の中では他人のことも考えてあげられる余裕のある人間となること。（力愛不二）

以上を二本の柱として修錬しています。

武道が、遠く戦国の世からの戦いの技術「自分を守り敵を倒すという武術」から脱却し、自己錬磨と礼節の教えを説く道へと変遷してから、その歴史は明治から平成へと積み上げられて参りました。しかしながら、どの武道においてもその競技の内容は礼節の教えからかけ離れ、成績、或は成果一辺倒に傾倒しているようです。少林寺拳法では、前述した二本の柱のもと、結果、成果ではなく変化を重要視しています。日々の修錬の過程を経て、個人が昨日より今日、今日より明日へと如何に変化しているか。この前までできなかったことが今日はできるようになった。他と比較するのでなく以前の自分と比較するのです。今、学校教育で盛んに言われている〝絶対評価〟を少林寺拳法は創始（昭和22年）から行っていたのです。そして、少林寺拳法では心魂気魄、錬鉄鍛冶の精神を持ってその技法を常に二人一組で行うことにより、自分の変化が練習相手にも影響を与え、お互いに変化し向上してゆけるのです。自分だけが良くなるのでなく相手も良くなる。ここで、他との調和とコミュニケーションが創造されます。まさに理想的な武道といえるでしょう。

**少林寺拳法茨城守谷支部の活動状況**

稽古日：火、木（少年部、一般部）※少年部は小学生対象、一般部は中学生以上

月、水、金、土（一般部のみ自主稽古日。ただし、指導者不在の場合は休み）

＊時間：19時〜21時

＊場所：愛宕中学校　武道場

※曜日によっては、場所の変更あり。支部長に要確認のこと。

＊部員：年齢は問わず、それぞれの体力、運動能力に合わせて無理なく続けられるように稽古に励んでいます。（御高齢、就学前の児童の入会はご相談下さい）

＊見学：見学は自由ですが、節度を持って見学してください。できれば事前に連絡願います。

＊入会：入会希望の方は、電話または電子メールにて予め支部長に連絡しお尋ね下さい。インターネットホームページでも紹介をしておりますのでご覧下さい。

＊支部長連絡先：財団法人少林寺拳法連盟茨城守谷支部

支部長　米地明彦

電話　090−4952−0999

e-mail：shorinji.yoneji@nifty.com

homepage：

http://homepage3.nifty.com/shorinji-moriya/index.htm

## 登山・ハイキング

登山ハイキング部会は守谷山の会を中心に安全登山をモットーに活動しています。会員の年齢は二十代から七十代まで文字通り老若男女で山登りを楽しんでいる。最近はスキーや雪山にも挑戦する人もいて活動も多彩だ。また山の会創立10周年を記

念してネパールに遠征する計画を立て、先発隊が12月にネパールに行ってきた。以下定例会のみ報告する。3月には奥日光湯元温泉から刈込湖までスノーシューで歩く。前日に降った雪が眩しい晴天。4月は秩父の破風山と蓑山。桜吹雪の下で昼食、山頂の花見を楽しむ。五月は霧降高原。雨のため日光の鳴虫山を急遽変更。白と赤のヤシオツツジが雨の中輝いていた。六月は長野の湯ノ丸山。全山が赤く染まるほどのレンゲツツジの群落で有名。登山者も多かった。

7月は平標山。三国峠の上越国境の山。朝から蒸し暑くリーダーの予測どおり雷がきた。雷鳴と稲妻の中を早めに下山難を逃れた。8月は至仏山。台風一過狙って強行。期待した晴天のはずが強い雨に打たれる。雨具の性能試験にはなったが眺望はなし。9月は東北の栗駒山。変化のある山容と紅葉と温泉を満喫した。10月は磐梯山。この上ない秋晴れに恵まれ、裏磐梯の紅葉を見下ろしながら爆裂火口を下りた。(写真) 11月は新人歓迎会を兼ねて奥久慈男体山から袋田の滝まで縦走。茨城にも「こんないい山があるなんて」という賞賛の声が多かった。下山後温泉とバーベキューで盛り上がった。12月は福島の大滝根山。1月は万座温泉でスキー。数十年ぶりでスキーを履く人。スキースクールに入りレッスンを受ける人もいる。2月は雪の上高地へ。雪の河童橋まで歩いて往復。スキー組は乗鞍温泉スキー場でスキー。募集登山は7月に早池峰山。10月には秋の尾瀬を歩く。今年も5月の尾瀬のほか募集登山を行なう予定です。広報「もりや」でお知らせします。山歩きしませんか。

## バレーボール

『現在、守谷市バレーボール連盟には4チームが加盟し、各チームそれぞれが活動をしています。主な大会は、春季・秋季・近隣大会があります。昨年の守谷市近隣大会(12月5日)は、盛大に熱戦が繰り広げられました。この日近隣の市の大会と重なり、例年より参加チーム数は少なかったのですが、推薦チームを迎えての大会となり、また一段と活気があり大会は盛り上がりました。また、各近隣市町村主催の大会にも、守谷市の代表として順番で各チームが参加し、幅広く活躍しています。毎年恒例の市民バレーボール大会は6月にあり、中学生以上の方なら誰でも参加でき、なおかつ男性も参加できるという唯一の大会です。それにPTA親睦球技大会もあり、学校対抗なのでいつしか本気になり、経験者も初心者も一つのボールを追って試合をしています。体を思いっきり動かしていい汗をかいて発散して、健康にいいですね。連盟に加盟しているチームは少ないのですが、バレーボールをやっている人は多いのです。他の市では、シニアのチームもあります。と言うことは長くできるということです。バレーボールはチームプレーの楽しさがあります。是非貴方もやってみませんか?』

慶野葉子

## 卓球

私たちの守谷卓球クラブは昭和55年9月に結成し、2年後の昭和57年に体育協会に加盟いたしました。

現在、結成以来25年目を迎え、クラブ員は約30名で活動しています。

守谷卓球クラブの練習は、毎週金・土曜日の午後7時半から10時まで守谷中学校体育館で行っています。また、近隣市町村をはじめ県内各地、千葉県等で開催される各種大会に積極的に参加し、優秀な成績をおさめております。なお、昨年度の主な活動内容は左記のとおりです。

平成16年
6月　第15回野田オープン団体卓球大会
　　藤代町オープン卓球大会
8月　第25回近隣市町社会人卓球大会
9月　第16回足立杯卓球大会
11月　取手市オープン団体卓球大会
12月　第3回守谷市民卓球大会
平成17年
2月　つくば研究学園都市リーグ戦
3月　第48回大川杯争奪卓球大会

また、卓球だけではなく、旅行を兼ねた合宿やボウリング大会、懇親会なども行い、クラブ員の交流を深めております。

関心のある方は、是非一度見に来てください。お待ちしております。私たちと一緒に卓球を楽しんで、気持ちのよい汗を流してみませんか。

## バスケットボール

守谷市バスケットボール連盟は平成4年7月に設立され、現在は男子11チーム、女子8チームの合計19チームが所属しています。当連盟におきましては、選手としての技術向上及び審判員としての講習会などを、年2回の主催大会を通して取り組んでいます。加盟チーム同士の親睦や楽しいバスケットボールなどの普及などにも積極的に努めています。その中で今回は、バスケットボールを楽しみたい!!うまい下手なんて関係なくボールを追い続けたい仲間(Friends)が集まったフレンズ(女子バスケットボールチーム)を紹介します。

活動内容は、週2回の練習と年数回の大会出場です。メンバーは10代後半から30代後半までと年齢層が幅広く、バスケットボール歴も初心者から実業団経験者まで様々な人々が集まっているので、どんな人でも参加し

やすいチームです。

参加大会は、全てに参加すると年間4大会、10～30試合ぐらいあります。フレンズは、全員揃って出場できればかなりの強豪チーム（?!）だと思います。しかし現実には家庭や仕事の都合で参加できない選手がいるため、常に万全の体制で試合に臨むということはできません。でも私達はその時参加できたメンバーで力と技と知恵を出し合い、勝利を目指して試合することをとても楽しんでいます。勝てば歓喜し、負ければ奮起し「またがんばろう！」そう言い合って今まで続いています。今年度は出産・育児休の選手が出たことなどからリーグ戦形式の大会参加は見送りました。試合数が少なくなるのは残念なことですが、チームメンバーの活動状況に合わせて臨機応変に対応していけるのも、チームの長続きの秘訣だと思っています。

チームメンバーは学生やOLの人もいますが、多くが家庭婦人です。専業主婦として3人・4人の子育て中の肝っ玉母さん達もいれば、妻や母をしながらバリバリ社会で働いている人達もいます。女性としてのいろいろな生き方をしている人達が、自分自身の楽しみのために集まってきているので、バスケットボールを楽しむと同時に友人との時間を楽しみにも来ている感じです。また、子連れ参加は当たり前。練習でも試合でも、いつでもコートの脇で子供達が遊んでいます。そしてみんなが兄弟姉妹のようにして育ち、若い選手達も模擬子育てを体験しています。最近ではバスケットボールを始めた子供達が増え、ときどき娘達が母と一緒に練習やゲームに参加していることもあり、益々オープンなチームに成長しています。フレンズにはコーチなどの指導スタッフは置いていませんが、現在ジュニアの指導に携わっている人や日本体育協会の指導資格を持った人などもメンバーの中にいるので技術面や健康面の悩みを相談しあったりもしています。

練習日は、毎週火曜日と金曜日の夜8時から10時まで。市内の愛宕中学校体育館を借りて練習をしています。

興味がある方、見学だけでも来てみてください。フレンドリー過ぎて驚く人も時々いますけど、私たちとフレンズになってくれたらもっともっと大歓迎ですよ!!

## ラグビー

常総RFCは1974年創部以来、茨城県社会人1部リーグに所属し県内のチャンピオンシップの覇権を競っている。この茨城県のチャンピオンシップは東日本クラブ選手権大会に繋がり、全国クラブ選手権大会へと続いている。

常総クラブは1995年のシーズンに茨城県チャンピオンとなり、東日本クラブ選手権を3位で勝ち上がり、全国クラブ選手権出場を果たしている。この年から三年連続で東日本クラブ選手権へ出場しているが、ここから七年間、東日本クラブ選手権出場を実現できていない。今年こそ！本当に今年こそ！東日本クラブ選手権に出たいと部員一同努力の日々が続いている。

そんな常総クラブではあるが、組織そのものは、ラグビーを心から楽しむ地域密着のクラブである。同じ組織として小学生を対象としている常総ジュニアクラブもすでに23年の歴史を積み重ね、多くのジュニア卒業生が上の世代としてラグビーを続けている。高校生の聖地である「花園」で活躍した卒業生も出てきている。最近では中学生を対象としたチームも発足して12歳以下（U―12）と15歳以下（U―15）という形態でますます組織が整備されてきている。

常総クラブは、常時部員を募集しています。幼稚園生から社会人までの幅広い募集です。お父さん、お母さんたちは、子供たちと一緒に走ると運動不足解消だけでなく、コーチにだってなれるんですよ！こうなるとストレスも解消できます。

連絡先
社会人　090―5334―5149
竹之内
ジュニア　090―3345―7990
安　達

## ゲートボール

皆さん、ゲートボールは、老人のスポーツと思ってはいないでしょうか。確かに、高齢者に望ましい体力づくりと高く評価されてきました。

現在、守谷ゲートボール協会でも、高齢者の皆さんが元気に笑顔をみせながら、ボールを追って楽しんでいます。

また、年1回は、温泉旅行をしながら、ゲートボールもやっています。しかし、いざ試合となると、単純そうで奥の深いゲームですので、中高年者には、お勧めしたいスポーツです。自球を定められたら、順に3個のゲートを通過させ、中央のゴールポストに当てると上がりとなるが、そのゲーム中には、いろんな頭脳プレーがあり、作戦技能に磨きをかける考えるスポーツなのです。

守谷ゲートボール協会でも、近隣の市町村大会に参加して愛好者と親睦を深めています。また毎月第3日曜日には、常総運動公園ゲートボール場で、月例会を開催していますので、是非、お友達と一緒に見学に来て下さい。お待ちしています。

連絡先
TEL　48―5485　桜井　昇
TEL　48―2014　岡田　俊雄

## スポーツ少年団 ハンドボール部会

守谷クラブは昭和60年に発足したハンドボール競技のスポーツ少年団です。

現在では、関東屈指の強豪チームに成長し、3度目の優勝を目指して参加した昨年度の全国少年少女ハンドボール大会では、惜しくも神森小（沖縄）に敗れたもののベスト8に入ることができました。その他の主な成績は、茨城県大会優勝、関東大会優勝、守谷大会優勝、茨城県新人大会高学年・低学年W優勝、読売杯高学年・低学年W優勝です。

守谷クラブのOBは、地元のけやき台中学校、伊奈高校、守谷高校、水海道一高校、藤代紫水高校のハンドボール部で大活躍しています。

現在の団員は、高野小学校を中心に一年生から六年生の男子30名、女子4名ですが、ハンドボールに興味のある小学生は、学校、男女に関係なく入団できます。練習は、水・金・土・日の週4日で、主な練習場所は高野小学校グラウンドです。ぜひ、ハンドボールの楽しさを味わってください。

## スポーツ少年団 剣道部会

剣道部会では、錬心塾とくわがた剣道クラブの2団体があり、それぞれにおいて熱心な指導のもと剣道を通して、礼節と思いやりの心を養い心身ともに鍛練していくことを目標に稽古に励んでいます。

また各種大会への出場もその都度、企画していますが勝つことだけが目標ではなく、スポーツを楽しんで仲間を増やしていくことも大切な活動だと思います。はだしで床を踏みしめ大きな声を出して練習していると日頃のストレスも解消できることでしょう。

最近では、剣道をする子供の数も減ってきてしまっています。日本の武道の素晴らしさにあらためてふれてみなせんか？初心者大歓迎です。老若男女問わず広く仲間を募集しています。

・錬心塾
大柏の道場にて
毎週火、土曜（午後6時半～）

・くわがた剣道クラブ
松前台小にて
毎週日曜（午後4時～）

## スポーツ少年団 軟式野球部会

我がみずき野シティボーイズは、守谷市少年軟式野球部会に所属していると同時に、取手地区を中心に13チームが集まる常総軟式野球連盟にも所属しており、各種大会　行事に参加させて頂いております。

部員構成は3月1日現在、1年生1名、2年生6名、3年生9名、4年生14名、5年生19名で、A、B、Cチームの3チーム構成で、子供達の成長に合わせた練習内容にしています。チーム内の行事としては、お雑煮会（1月）、6年生を送る会（2月）、夏季合宿（8月）、等があります。また各市町村主催の野球大会に多く参加しながら、守谷ハーフマラソン大会やみずき野夏祭り、守谷市スポーツフェスティバル、ヘルシーボール大会などのイベントなども積極的に楽しんでいます。

昨年度の主な成績は、守谷市長争奪軟式野球大会優勝。常総連盟春季トーナメント優勝。タカノフーズ杯　県南地区大会優勝、及び県大会3位。水海道パラ賞大会3位。寺原ライナーズ杯3位。龍ヶ崎市長杯優勝。戸頭杯優勝。と輝かしい成績を残すことができました。

## スポーツ少年団 ミニバスケット部会

守谷市のミニバスケットボールスポーツ少年団は、男子が5チーム【くわがたミニ（松前台小）・御所ヶ丘ミニ（御所ヶ丘小）・大野ミニ（大野小）・松ヶ丘ミニ（松ヶ丘小）・大井沢ソニックミニ（大井沢小）】、女子が7チーム【大野ミニ（大野小）・松前台ミニ（松前台小）・御所ヶ丘ミニ（御所ヶ丘小）・ドリームキッズミニ（大井沢小）・松ヶ丘ミニ（松ヶ丘小）・ファインズミニ（守谷小）・郷州ミニ（郷州小）】あり、各小学校の体育館で日々練習に励んでおります。その結果、市内大会（年4回）はもとより、他市町村との交流試合や県南地区大会（年3回）及び県大会（年2回）等において各チームがそれぞれに活躍をしております。それに伴い、子ども達が活躍している場を保護者の方も数多く見ることができ応援にも力がはいり親と子のコミュニケーションも大いに図ることができております。

また、各チームでは練習や試合だけではなく、共同生活を体験するための合宿や親睦会等を企画し、指導者・保護者・子ども達が一体となっていろいろな経験をしております。小学生であれば誰でも体験することができます。体を思いっきり動かすことの楽しさ、汗を流すことの爽快感を味わってみませんか。生き生きとした声が響く小学校の体育館に、一度ぜひ見学に来て下さい。

## スポーツ少年団 サッカー部会

サッカー部会は、4単位団（守谷JFC、FC郷州、FC大野、守谷ウィングス）で、団員200名、指導者45名により成り、部会年間計画に基づき各事業を行っております。10月の市外招待チームを交え、12チームによる市長カップ争奪大会に始まり柏レイソル指導者を迎えたサッカースクールの開催、試合機会の少ない低学年（4年生以下）を対象とした春、秋の低学年大会の開催、年度末に行う六年生送別カップ大会、指導者を対象としたコーチングスクール等を行っております。

また、主に中学生を対象として、3～4年に一度行っております姉妹都市マインブルク市への派遣事業も部会の重大事業であります。この交流派遣事業を通してマインブルク市との交流がさらに深まり、参加団員にとっても同世代の少年たちとの交流やホームスティ等を通して、言葉の壁を超えた、楽しく貴重な体験を積むことができます。また仲間との連帯や協調性を養うことができます。

学校週5日制の実施により、青少年の健全育成活動の助成という観点から、地域および父母のスポーツ少年団活動に寄せる

期待の大きさを強く感じております。休日を利用したスポーツ少年団活動全般を通して子どもたちのバランスの取れた成長を願って活動に取り組んでいます。

単位団では、団員募集を随時行っております。将来のJリーガーを目指し、友達とボールを蹴りましょう。

大久保富夫　48―0025

## スポーツ少年団 硬式野球部会

硬式野球部会「守谷ネオボーイズ」は、中学生を対象に日本最大の少年硬式野球団体「日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）」に所属し、野球という団体スポーツを通して〝しつけ〟を始めとした青少年の健全育成を主眼として活動しています。

平成16年は、第35回日本少年野球選手権大会に、千葉・茨城ブロックの代表として昨年に続き2年連続出場しました。また、第7回関東ボーイズリーグ大会（関東・東北・甲信79チーム）では、準優勝という快挙を成し遂げボーイズリーグの代表として、少年硬式野球各団体（ボーイズ・リトルシニア・ポニー等）が一堂に会し、真の少年硬式野球、日本一を決定する2004ジャイアンツカップ（於：東京ドーム巨人軍　読売グループ主催）に出場（ベスト8）することができました。創部4年、また、土・日曜日という限られた練習日程の中での2大全国大会に出場する等、着々と実績を残し、関東では強豪チームとしての地位を一歩一歩確立しつつあります。

今春は、多くの部員が高校生になり、高校野球での活躍が期待されています。野球が大好き、そして硬式野球をしてみたい中学生は、是非見学に来て下さい。

〝ネオで作ろう青春のページ〟皆さんの入部をお待ちしております。

〈連絡先〉守谷ネオボーイズ
前田時芳　TEL　45―5545

## スポーツ少年団 バドミントン部会

守谷市のスポーツ少年団バドミントン部会には、大井沢バドミントンとWithバドミントンの2チームがあります。大井沢バドミントンは大井沢小学校体育館で、Withバドミントンは高野小学校体育館で主に土曜日と日曜日に練習を行っています。

平成16年度バドミントンスポーツ少年団の大会として、県西地区大会が7月に守谷市常総運動体育館で、県代表選考会が8月に石岡市で行われました。この県代表選考会では、各チームすばらしい成績を上げ、10名もの選手が関東大会に出場しました。今年度は全国選手権大会に1名が出場を果たし、2月はゴーセンカップ（低学年の部）で2名が優勝しました。3月には、茨城県小学生大会が行われます。

地区ごとにジュニア育成の強化に力を入れ、埼玉オープン、関東ブロック少年年団交流大会、合同練習会、指導者講習会と参加し、色々なチームとの交流を深めております。そしてその中で更によい成績が残せるよう向上心を養っております。

団員は大井沢バドミントンが31名、Withバドミントンが27名、団長、お父さん、お母さんコーチの指導のもと、明るく元気に時には悔し涙を流しながら日々シャトルを追って練習に励んでいます。体を思い切り動かすことで楽しさ倍増です。家で悩んでいる小学生がいたら、お父さん、お母さん、少し後押ししてあげて下さい。スポーツを通してすばらしい仲間と心と体を育てましょう。

## 守谷市体育協会役員

（平成17年3月31日現在）

| 役職名 | 所属名 | 氏名 |
|---|---|---|
| 会長 | 市議会議員代表 | 中田孝太郎 |
| 副会長 | ラグビー代表 | 安達孝志 |
| 事務局長 | サッカー代表 | 坂操 |
| 監事 | 社会教育委員代表 | 塚原三千勝 |
| 監事 | バスケットボール代表 | 飯島健次 |
| 会計 | 庭球代表 | 野口英世 |
| 会計 | ソフトボール代表 | 武田隆造 |
| 理事 | 学校体育連盟代表 | 岡田英久 |
| 理事 | 女性団体連絡協議会代表 | 倉持和子 |
| 理事 | PTA連絡協議会 | 高野正勝 |
| 理事 | 子ども会育成連合会代表 | 久保田淳 |
| 理事 | 体育指導委員代表 | 南城正治 |
| 理事 | 体育指導委員代表 | 本保米春 |
| 理事 | スキー代表 | 出野保造 |
| 理事 | 登山・ハイキング代表 | 高梨隆 |
| 理事 | 少林寺拳法代表 | 米地明彦 |
| 理事 | バレーボール代表 | 慶野葉子 |
| 理事 | ゴルフ代表 | 坂一利 |
| 理事 | ゲートボール代表 | 桜井昇 |
| 理事 | スポーツ少年団本部 | 文道敏雄 |
| 理事 | 卓球代表 | 阿部英樹 |
| 理事 | 軟式野球代表 | 椿文嶺 |
| 理事 | バドミントン代表 | 水海藤一 |
| 事務局 | 生涯学習課 | スポーツG |

## 守谷市スポーツ少年団役員

（平成17年3月31日現在）

| 役職名 | 所属名 | 氏名 |
|---|---|---|
| 本部長 | | 文道敏雄 |
| 副本部長 | サッカー部会代表 | 大久保富夫 |
| 副本部長 | ミニバスケット部会代表 | 須賀正利 |
| 本部委員 | ハンドボール部会代表 | 中山悟 |
| 本部委員 | 硬式野球部会代表 | 池田朝美 |
| 本部委員 | バドミントン部会代表 | 椎名修 |
| 本部委員 | 剣道部会代表 | 牧野秀樹 |
| 会計 | バドミントン部会代表 | 松田利通 |
| 監事 | サッカー部会代表 | 伯耆田隆一 |
| 監事 | 軟式野球部会代表 | 秋元英雄 |
| 代議員 | 各登録団の代表者 | 各チーム代表 |
| 事務局 | 生涯学習課 | スポーツG |